

---

# AIプラス AI教育サービス ご紹介資料



株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト

AI（人工知能）を活用して業務改善をしたい。  
しかし、さまざまな悩みが…。

AIで何ができるかな

何からすれば良いのかな

どれくらいの精度で効果がでるのかな



費用、開発期間はどれくらいかな

その悩み、高いAI技術や豊富なシステム構築の実績をもつ  
日立ソリューションズ・クリエイトの

「AIプラス AI教育サービス」が解決します。

# 「AIプラス AI教育サービス」とは

AI（人工知能）は一段と進化しています。さまざまな業務シーンに導入が進められたことで、業務効率が飛躍的に向上し、人財不足などの問題解消に効果をあげてきているところです。

しかし、AI導入にあたり新技術への理解不足のため、構想を具体化できず投資回収の計画までに至らないなど、お困りのお客さまが多くいらっしゃいます。そこで…、

**『AIプラス AI教育サービス』では、お客さまにAI技術の動向、実業務へのAIの適用方法とそのプロセスを理解していただいたうえで、業務の実状に合ったAI利用の体験を通じて、構想の具体化を支援するコンテンツを提供いたします。**

お客さまのご希望に沿うよう、3つのコースをご用意いたしました。

1. AIビジネス概論コース
2. AI技術概論コース
3. ディープラーニング実践コース



# Contents

---

1. 「AIプラス AI教育サービス」の特長
2. 「AIプラス AI教育サービス」の概要
3. 「AIプラス AI教育サービス」の価格

---

# 1. 「AIプラス AI教育サービス」の特長

## 1-1 「AIプラス AI教育サービス」の特長

### (1) 現場を知る講師による教育

- AIの知識だけでは、業務システムへのAIの導入はできません。豊富なシステム構築の経験を有する講師が、IT業界の現場でのAIの取り組みや課題を実例を交えて解説。「AIが何かは分かったけれど、どこにどう使うのか」という疑問に答えます。

### (2) 体験型学習による、より身につく学習

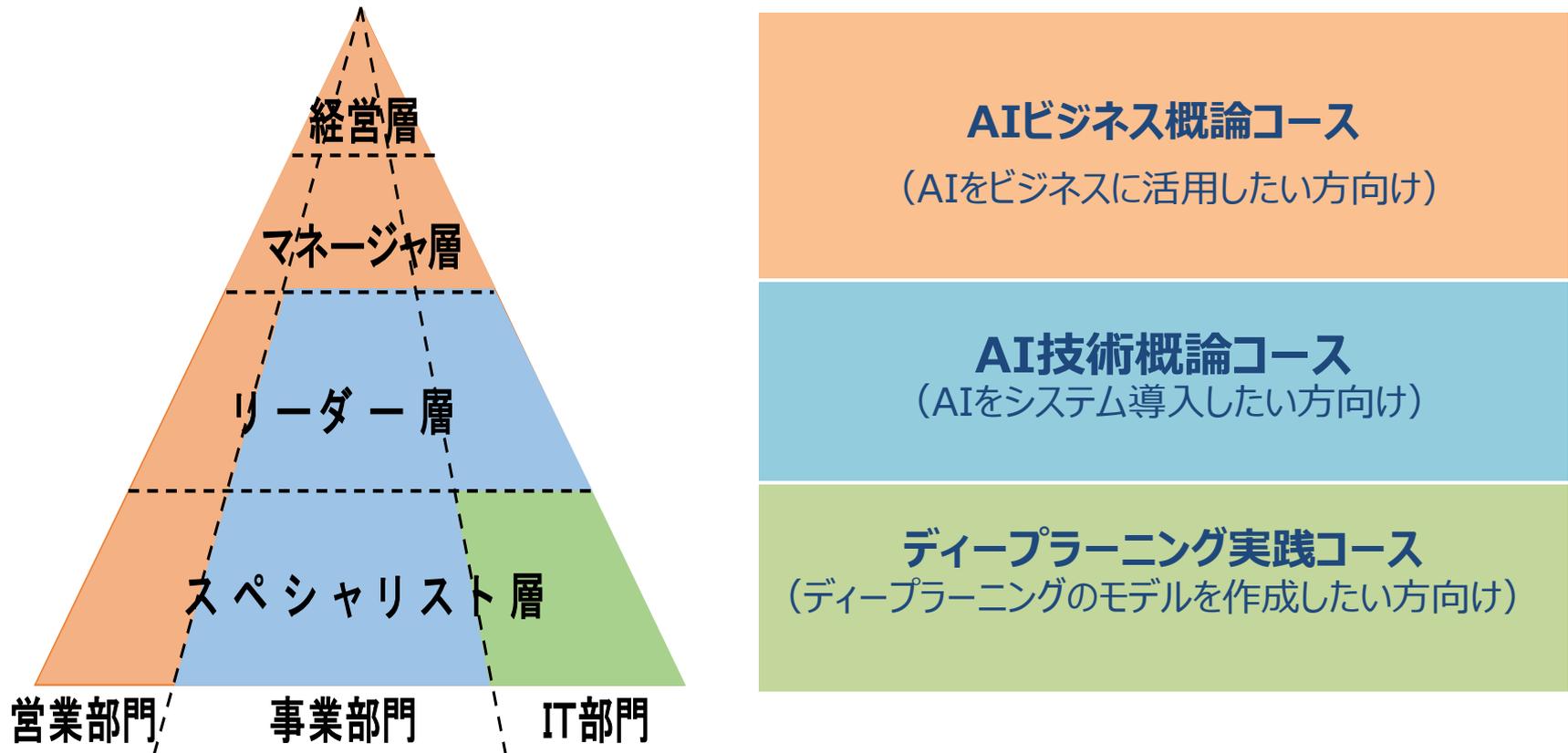
- 「AI技術概論コース」、「ディープラーニング実践コース」では、AI開発に重要な「アノテーション」や「AIモデル（学習モデル）作成」を体験できます。
- お客様のご要望に応じて、実データ持ち込みによる簡易PoC（概念実証）も演習に組み込みます。これにより、より実践的なAI学習体験が可能です。

### (3) 高い技術力を持った講師による教育

- 弊社には、AIに関する国内コンペティション（2017、2019）や、国際コンペティション（Kaggle、2019）で上位入賞した技術者が在籍しています。講師陣はこうした技術者と連携を取り、本講座を開催しています。
- また、講師陣もディープラーニング知識（E資格取得者\*）を有しており、分かりやすく解説します。

\*日本ディープラーニング協会が実施するJDLA Deep Learning for ENGINEER資格試験

## ■ AI教育サービス体系図



図：教育体系イメージ

---

## 2. 「AIプラス AI教育サービス」の概要

## 2-1 AIビジネス概論コース概要

コース概要	AIを活用して業務効率の向上のために必要な、AIに関する全般的知識の習得を目指します
到達目標	<ul style="list-style-type: none"><li>AIの技術動向を理解できる</li><li>業務へのAIの適用方法を理解できる</li><li>AI案件の推進プロセスを理解できる（計画、構築、保守各フェーズ）</li></ul>
対象者	ビジネスにAIを適用しようとしている方
前提知識	ビジネスにIT活用をした経験がある方
教育内容	<ol style="list-style-type: none"><li>オリエンテーション</li><li>最近のAIの話題</li><li>AIとは</li><li>AIを取り巻く状況</li><li>ディープラーニングとは</li><li>AI案件のすすめ方</li><li>必要なハードウェア、ソフトウェア</li><li>AI案件で注意すべきこと</li><li>弊社のAIへの取り組み</li></ol>

<p>コース概要</p>	<p>座学およびPCを使用した演習により、AI技術を活用した情報システム開発の取り纏めに必要な知識を学習します</p>												
<p>到達目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>AIの概要や使用方法などを理解し、適切な技術を選択できる</li> <li>PoCを計画し、結果を評価して投資判断ができる</li> <li>AI技術を活用した情報システムの開発を、リーダーとして推進できる</li> </ul>												
<p>対象者</p>	<p>AI技術を活用した情報システムの開発を行いたい方</p>												
<p>前提知識</p>	<p>情報システム開発経験がある方または同等の知識をお持ちの方</p>												
<p>教育内容</p>	<table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション</td> <td>7. AI適用における評価方法</td> </tr> <tr> <td>2. AI / ディープラーニング概要</td> <td>8. 商用サービス紹介</td> </tr> <tr> <td>3. ディープラーニングの使い方</td> <td>9. AI適用における可否判断及び隘路</td> </tr> <tr> <td>4. ディープラーニング体験演習</td> <td>10. AIシステム構築の進め方（契約の注意点）</td> </tr> <tr> <td>5. ディープラーニングの仕組み</td> <td>11. 弊社のAIへの取り組み</td> </tr> <tr> <td>6. ディープラーニングの実用</td> <td></td> </tr> </table>	1. オリエンテーション	7. AI適用における評価方法	2. AI / ディープラーニング概要	8. 商用サービス紹介	3. ディープラーニングの使い方	9. AI適用における可否判断及び隘路	4. ディープラーニング体験演習	10. AIシステム構築の進め方（契約の注意点）	5. ディープラーニングの仕組み	11. 弊社のAIへの取り組み	6. ディープラーニングの実用	
1. オリエンテーション	7. AI適用における評価方法												
2. AI / ディープラーニング概要	8. 商用サービス紹介												
3. ディープラーニングの使い方	9. AI適用における可否判断及び隘路												
4. ディープラーニング体験演習	10. AIシステム構築の進め方（契約の注意点）												
5. ディープラーニングの仕組み	11. 弊社のAIへの取り組み												
6. ディープラーニングの実用													

## 2-3 ディープラーニング実践コース概要

<p>コース概要</p>	<p>Keras*を使った実践的なディープラーニングの開発手法を習得します *機械学習用ライブラリ</p>		
<p>到達目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>画像分類のモデルが作成できる</li> <li>物体検出のモデルが作成できる</li> </ul>		
<p>対象者</p>	<p>業務でディープラーニングのモデルを作成し、画像分析を実施したい方</p>		
<p>前提知識</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>AI技術概論コース習得済みの方、または同等の知識をお持ちの方</li> <li>情報システムの開発プログラミング経験がある方</li> </ul>		
<p>教育内容</p>	<p>【1日目】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>オリエンテーション</li> <li>ディープラーニング概要</li> <li>ディープラーニング体験演習</li> <li>精度の評価方法</li> <li>Pythonの基本文法の説明</li> <li>多層パーセプトロン</li> <li>精度を上げるためのテクニック①</li> </ol>	<p>【2日目】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>オリエンテーション</li> <li>畳み込みニューラルネットワーク</li> <li>精度を上げるためのテクニック②</li> <li>ネットワーク構造</li> <li>オリジナルデータを使う</li> <li>転移学習</li> <li>判断根拠の可視化</li> </ol>	<p>【3日目】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>オリエンテーション</li> <li>物体検知</li> <li>テキスト分類</li> <li>閾値の調整</li> <li>ディープラーニングの応用例</li> <li>数値データの回帰</li> <li>コンペティション形式演習</li> </ol>

---

### 3. 「AIプラス AI教育サービス」の価格

## 3-1 AIプラス AI教育サービス価格

コース名	対象者	開催期間	価格（税抜）
AIビジネス概論コース	ビジネスにAIを適用しようとしている方	2時間	30,000円/人 ※最低参加人数5名
AI技術概論コース	AI技術を活用した情報システムの開発を行いたい方	1日 (8時間)	70,000円/人 ※最低参加人数10名
ディープラーニング 実践コース	業務でディープラーニングのモデルを作成し、 画像分析を行いたい方	3日 (8時間×3日)	210,000円/人 ※最低参加人数5名

※教育サービスは、日立ソリューションズ・クリエイト東京本社にて行われます。その他の場所での開催をご希望の場合は、弊社営業にご相談ください。

※価格表の表示価格は「総額表示義務に関する消費税法の特例」に基づき、すべて消費税抜きの価格となっております。別途消費税を申し受けます。

# 株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト

電話でのお問い合わせ

**0120-954-536**

受付時間 10:00～17:30 月曜日～金曜日（祝日、弊社休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

**[hsc-contact@mlc.hitachi-solutions.com](mailto:hsc-contact@mlc.hitachi-solutions.com)**

ご相談、ご依頼いただいた内容は、回答等のため、当社の関連会社（日立ソリューションズグループ会社）及び株式会社日立製作所に提供（共同利用含む）することがあります。  
取り扱いには充分注意し、お客様の許可なく他の目的に使用することはありません。